

小学校5・6年生～

2022年12月 no.84

よんでネット* 2022 冬号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



小学館
[66コ]

宇宙食になったサバ缶

小坂康之 別司芳子 著

2020年11月27日、国際宇宙ステーションで野口宇宙飛行士が「おいしーい!」と絶賛したサバ缶は、高校生が開発した。「ここでつくったサバ缶を、宇宙に飛ばせるんちゃう?」という生徒の一言から、若狭高校の宇宙食開発は始まった。宇宙で食べたくなる味って? 無重力で水分が飛び散らないようにするには?

14年かけて夢のバトンをつなげた高校生の挑戦!

なまはげ

池田まき子文 早川純子絵

ある大きな国から、男鹿半島にやってきた父鬼、母鬼と三びきの子ども鬼。人間の役に立つようせっせと働く。だが、父鬼、母鬼はつかれ果てて死んでしまう。子ども鬼たちは、親をなくした悲しみをはらすかのようにあばれるようになる。こまった村人は、鬼たちとある取り引きをするが...

秋田県の季節行事「なまはげ」の由来となった昔話。



汐文社

[E・絵本のコーナー]



河出書房新社
[E・絵本のコーナー]

世界の市場 ^{いちば} ^ば おいしい! たのしい! 24のまちでお買い物
文 マリヤ・バーハレワ 絵 アンナ・デスニツカヤ 訳 岡根谷実里

市場に、行ったことはある? 野菜や肉や魚、おやつも売っているんだ。いまは、スーパーやオンラインで買い物もできるけど、100年くらい前までは市場は、食料を買うことのできる**唯一**の場所だった。どんなお店があって、訪れる人たちは、どんな食材で、どんな料理をつくるんだろう。さあ、世界中の市場を探検しよう!

^{こう} ^や **荒野にヒバリをさがして** アンソニー・マゴーワン作
野口絵美 訳

春のはじめ、ニッキーは特別支援学校に通う兄ケニーと愛犬ティナを連れて、父さんにすすめられた国立公園へヒバリを見に出かけた。ところがとつぜんの**猛吹雪**で道を見失う。「家に帰りたい」とぐずるケニーをなぐさめながら、スマホに電波が入るようにと**崖**の先に高く持ち上げた。ところがスマホは手からすべり、**焦**ったニッキーは**崖**から転落して…。



徳間書店
[933マ]



評論社 [933モ]

アーニャは、きっと来る マイケル・モーパゴ作
佐藤見果夢 訳

第二次世界大戦中のフランス。ピレネー山脈の**麓**の小さな村に住む12歳の少年ジョーは、戦争に行った父の代わりに羊飼いをしていた。ある日、山の中で見知らぬ男に出会ったことをきっかけに、ジョーはユダヤ人の子ども12人の**生命**を手助けすることになる。ドイツ兵が**駐留**している中、やがて村人全員を**巻き込んだ大騒動**に…。